



平成 18 年 10 月 18 日

各 位

会 社 名 コ ン ビ 株 式 会 社
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 松 浦 弘 昌
 コー ド 番 号 7 9 3 5 東 証 第 1 部
 問 合 わ せ 先 財 務 部 長 鈴 木 一 郎
 T E L (0 3) 5 8 2 8 - 7 6 6 1

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 6 月 6 日に公表しました連結業績予想ならびに平成 18 年 5 月 12 日の決算発表時に公表しました個別業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期 中間業績予想数値の修正 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 9 月 30 日)

(1) 連結 (単位: 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	1 4 , 1 0 0	1 5 0	4 2 0
今 回 修 正 予 想 (B)	1 3 , 9 0 0	7 8 0	9 3 0
増 減 額 (B - A)	2 0 0	6 3 0	5 1 0
増 減 率	1 . 4 %	4 2 0 . 0 %	1 2 1 . 4 %
前 期 (平 成 1 8 年 3 月 期 中 間) 実 績	1 4 , 1 8 8	2 5 5	5 1 6

(2) 個別 (単位: 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	1 1 , 6 0 0	5 0	8 0
今 回 修 正 予 想 (B)	1 0 , 9 0 0	2 4 0	5 0
増 減 額 (B - A)	7 0 0	1 9 0	1 3 0
増 減 率	6 . 0 %	3 8 0 . 0 %	-
前 期 (平 成 1 8 年 3 月 期 中 間) 実 績	1 1 , 3 0 9	1 1 7	1 9 1

2. 平成 19 年 3 月期 通期業績予想数値の修正 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日)

(1) 連結 (単位: 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	2 8 , 8 0 0	5 8 0	6 8 0
今 回 修 正 予 想 (B)	2 7 , 5 0 0	9 8 0	1 , 0 0 0
増 減 額 (B - A)	1 , 3 0 0	4 0 0	3 2 0
増 減 率	4 . 5 %	6 9 . 0 %	4 7 . 1 %
前 期 (平 成 1 8 年 3 月 期) 実 績	2 8 , 2 8 1	3 7 9	8 6 8

(2) 個別

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	23,600	360	80
今回修正予想 (B)	22,000	400	120
増減額 (B - A)	1,600	40	40
増減率	6.8%	11.1%	50.0%
前期(平成18年3月期)実績	22,243	323	723

3. 修正の理由

国内においては、ベビー営業部門を中心に販売政策を抜本的に見直し、主力製品の販売戦略を販売数量から利益率の確保に切り替えるとともに、全社ベースで徹底したコスト削減を実施いたしました。海外においては、アジア地域が引き続き好調であったことに加え、北米地域が収益性の高いミドルおよびアップーミドル層へも販路を拡大し黒字化を達成いたしました。

この結果、連結・個別ともに、売上高は目標を下回るものの利益は前回発表の見込みを上回る見通しとなりました。

なお、通期の業績予想につきましては、市場における需要動向の変化および価格競争の激化等不安定要因はあるものの、引き続き顧客ベネフィットを第一に考えた商品開発と、利益率確保に重点を置いた販売政策を継続することに加え一層の経費削減につとめ、利益は連結・個別共に前回発表の見込みを上回る見通しです。

【業績予想に関する留意事項】

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上